

平成30年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



オレンジ  の「今」と「将来」のための
ビルド事業の説明に続いて「財政の健全性」
の確保について説明するで！

確かビルド（新規事業の実施、既存事業の充実）
とスクラップ（既存事業の見直し）はセット
だったよね！

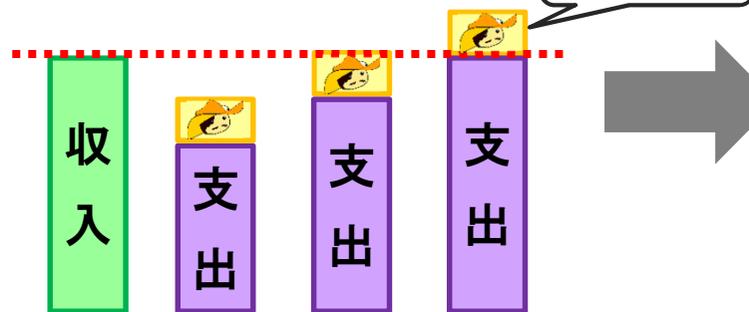


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまう。



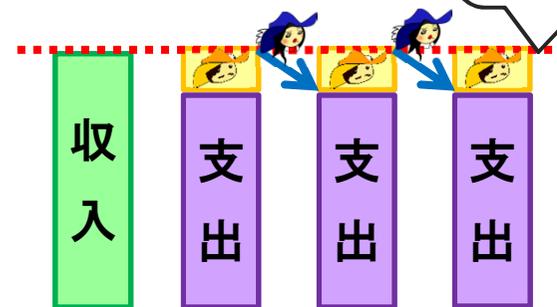
◎ビルドだけだと…

- ビルドによる新たな経費
- 財源が不足する経費



◎ビルドとスクラップがセットなら…

→ スクラップによる財源の確保



左の図みたい、**ビルド**だけやと収入以上に支出することになって財源が不足するけど、右の図みたい、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることもできるねん。



ってことは、平成30年度予算を編成するときにもスクラップに取り組んだってことね！

既存の事業を見直すことは、時代に適したものになるように行政サービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、平成30年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！



まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふういろいろな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ
ただけじゃないのよね。





平成30年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、
市のマイクロバスを廃止したり（713万円減）、
委託業務の見直し等をしてん。
合計で約2,000万円の見直しになるで。

実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

平成30年度は、電力やガスの契約に
入札を取入れた光熱水費の見直し
(6,169万円減) や、ごみ収集業務委
託の契約方法の見直し (2,803万円減)
などがあるで。



「最少の経費で最大の効果」を發揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約2億1,600万円も
見直しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を図ったり、実情に沿って見直すことやで。

システム使用料の見直し（1,172万円）のほか、委託料や補助金などで約3,300万円も見直してん。



委託料や補助金も必要に応じて見直せば、新たなサービスの財源になるのね！





最後は「**利用料の見直しと歳入の確保**」。サービスを見直して支出（歳出）を抑制するだけやなく、利用の適正化や収入（歳入）を増やして財源を確保しようっていう方法やで。

平成30年度の新たな取り組みは、学童保育室利用料の見直し（4,116万円増）や図書館雑誌カバー等への広告の掲載（27万円増）など、約4,600万円の歳入を確保できてん。

工夫を凝らした歳入の確保等にも取り組んでいるんだね！





「財政の健全性」の確保の方法には、
ビルド&スクラップの実践のほかにも、
ハード事業の適切な選択による市債発行
(借金)の抑制があるんだよ。
ハード事業の実施に伴い発行する市債の償
還費用が、将来世代に重くのしかからない
ようにしないとね。

“マイナスをゼロ”へ
きめ細やかに進化

“ゼロをプラス”へ
創意工夫のもと挑戦

確かな未来あるまちづくり
“次なる茨木”の実現

- メリハリあるビルド&スクラップの実践
- ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制

健全化の取組みによって、
将来にわたる健全財政を
確保してるのね！



平成30年度も「**財政の健全性**」を確保して「**次なる茨木**」に向かっていこう！



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

